

平成20年6月25日  
高知労働局発表

担 当	高知労働局労働基準部
	安全衛生課長 森中 孝行
	主任労働衛生専門官 大野 義文 電話 088-885-6023

## 平成20年における労働災害発生状況等について

### <第82回 全国安全週間の実施について>

～平成20年の労働災害による死亡者数は6人、  
休業4日以上之死傷災害は1,047件と、いずれも過去最少～

#### 1 死亡災害発生状況

- ・ 平成20年の高知県における労働災害による死亡者数は6人で、前年よりも8人減少し、過去最少となりました。
- ・ 業種別では、建設業が3人、第3次産業が2人、運輸業が1人となっており、建設業が全体の半数を占めています。  
昨年と比較しますと、製造業及び林業で0人に減少しています。
- ・ 事故の型別では、「交通事故」が2件、「墜落・転落」、「転倒」、「飛来・落下」、「激突され」が各1件となっています。

#### 2 休業4日以上之死傷災害発生状況

- ・ 平成20年の高知県における休業4日以上之死傷災害は1,047件と、前年よりも105件少なく過去最少となりました。長期的にみますと減少傾向は継続しています。
- ・ 業種別では、第3次産業が32.3%、製造業が24.9%、建設業が18.3%となっており、製造業は近年増加傾向にあります。
- ・ 事故の型別では、「転倒」が16.8%、「墜落・転落」が15.5%、「はさまれ・巻き込まれ」が12.6%で、災害全体の45%余りを占めています。

#### 3 高知労働局の取り組み

景気の悪化が続く中で、企業における労働災害防止対策に係る活動が停滞することが懸念されること等から、労働安全衛生法令の遵守を徹底することはもとより、第11次労働災害防止計画に基づき、墜落・転落災害防止対策や機械設備等に係る労働災害防止対策の徹底、職場の危険性又は有害性等の調査（リスクアセスメント）の普及促進等を図ることとしています。

#### 4 全国安全週間

産業界における自主的な労働災害防止活動を推進するとともに、広く一般の安全表彰の高揚と安全活動の定着を図ることを目的に、全国安全週間が来る7月1日～7日まで全国一斉に展開されます。本年度で82回を迎えますが、労働災害の一層の減少を図るためにはリスクアセスメント等の実施により職場から機械設備や作業等による危険を無くしていくことや、職業生活全般を通じた各段階での安全教育の徹底を図ることなどにより、「労働者の安全と健康を最優先する企業文化」である「安全文化」を定着させることが不可欠であるとの観点から、

『定着させよう「安全文化」 つみとろう職場の危険』  
をスローガンとして実施されます。

### 1 平成20年における死亡・休業4日以上之死傷災害発生状況等の概要

#### (1) 労働災害による死亡者数の推移【図1参照】

高知県の労働災害による死亡者数は、昭和31年の91人をピークとして長期的には減少してきており、平成20年の労働災害による死亡者は6人と、平成19年の14人と比較しても8人減少し、過去最少となりました。

#### (2) 死亡災害の業種別発生状況【図2参照】

高知県の業種別死亡者数は、平成19年と比較すると、製造業、林業及び運輸業では減少しましたが、建設業及び第3次産業では横ばいとなりました。

建設業における死亡者数は3人で、平成18年、平成19年と同数となっています。全産業に占める割合としては50.0%であり、28.6ポイント増加となりました。

運輸業における死亡者数は1人で、平成19年と比較すると1人減少し、全産業に占める割合は16.6%と2.3ポイント増加しました。

第3次産業における死亡者数は2人で、平成19年と比較すると同数となりました。全産業に占める割合としては33.3%であり、19.0ポイントの増加となりました。

平成19年に死亡災害があった製造業と林業は、平成20年は0人でした。

#### (3) 死亡災害の事故の型別発生状況【図3参照】

事故の型別の死亡者数は、平成19年と比較すると「墜落・転落」、「崩壊・倒壊」、「はさまれ・巻き込まれ」は減少しましたが、「交通事故」は同数となっています。

建設業では「墜落・転落」、「崩壊・倒壊」、「交通事故」が各1件となっており、運輸業では「転倒」が1件、第3次産業では「交通事故」と「激突され」が各1件となっています。

**(4) 労働災害による休業4日以上之死傷災害の推移【図1参照】**

高知県における労働災害による休業4日以上之死傷者数は、長期的には減少を続けており、平成20年には平成18年および平成19年の1,100人台を下回る1,047人と過去最少となりました。

**(5) 休業4日以上之死傷災害の業種別発生状況【図4参照】**

休業4日以上之死傷災害を業種別にみますと、建設業における労働災害が減少を続けているなかで、減少傾向が鈍化している業種、前年比で増加となった業種があることから、第三次産業や製造業について業種別での比率が高くなる傾向にあります。

**(6) 休業4日以上之死傷災害の事故の型別発生状況【図5参照】**

事故の型別では、「転倒災害」が16.8%と最も多く、次いで「墜落・転落災害」の15.5%、「はさまれ・巻き込まれ災害」の12.6%となっています。

また、業種別に事故の型をみますと、建設業では「墜落・転落」、「飛来・落下」が多く、林業では「切れ・こすれ」、「激突され」が多くなっております。運輸交通業と第三次産業では、「墜落・転落」、「転倒」とともに「動作の反動・無理な動作災害」が約19%を占める状況となっています。

## 2 第82回 全国安全週間主要行事

高知労働局管内で行われる主な行事は次のとおりです。

◇ 平成21年度 「全国安全週間厚生労働大臣表彰」伝達式

日 時： 7月1日（水）11：00から

場 所： 高知労働局〔高知市南金田1番39号〕

受賞者： 奨励賞・・・株式会社フジタ・みらい建設工業株式会社  
四国横断自動車道久礼坂トンネル工事  
特定建設工事共同企業体  
四国横断自動車道 久礼坂トンネル工事

◇ 第45回 高知県建設業労働災害防止大会

(建設業労働災害防止協会高知県支部主催、高知労働局後援)

日 時： 7月1日（水）13：30から

場 所： 高知県民文化ホール〔高知市本町4丁目3-30〕

内 容： ・優良事業場及び個人表彰

・講演1：「足場のあれこれ 高知県内における足場の現状」

一 労働安全衛生規則（足場関係）改正の説明 一

【講師】森本 恒世（高知労働局労災防止指導員）

和田 義幸（高知労働局労災防止指導員）

- ・講演 2 : 「建設業労働安全マネジメントシステムの構築により  
労働災害を無くするために」

【講師】 藤丘 育生 (建設業労働災害防止協会技術管理部  
建設業労働安全マネジメントシステムトータル  
サービスセンターシステム企画課長)

◇ 第 4 5 回 全国安全週間安芸地区大会

(安芸労働基準協会主催、安芸労働基準監督署後援)

日 時 : 7月2日(木) 13:00から

場 所 : 田野町ふれあいセンター〔安芸郡田野町1828-5〕

内 容 : 優良事業場及び優良従業員表彰、特別講演

◇ 第 3 0 回 須崎地区安全衛生大会

(須崎労働基準協会主催、須崎労働基準監督署後援)

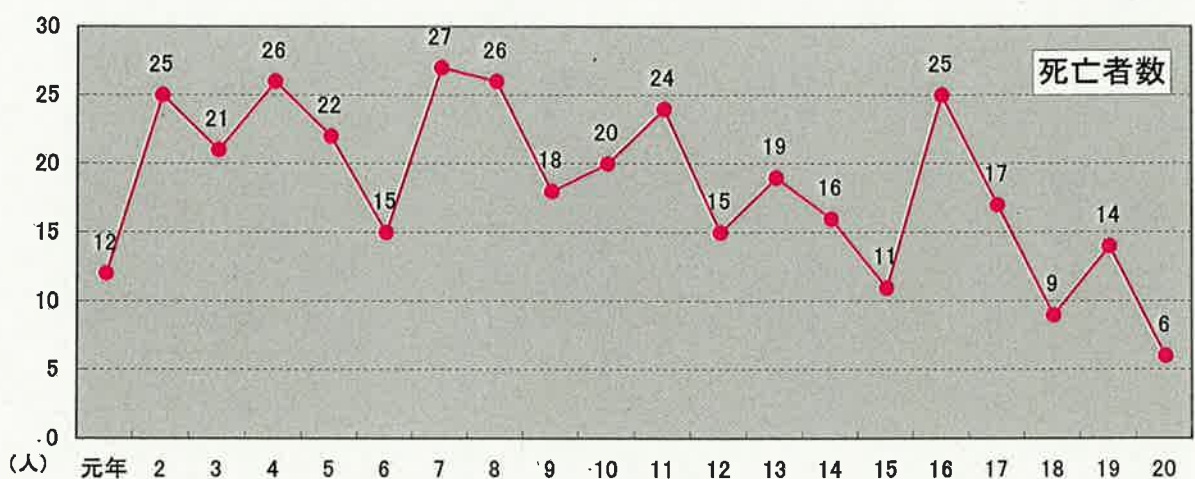
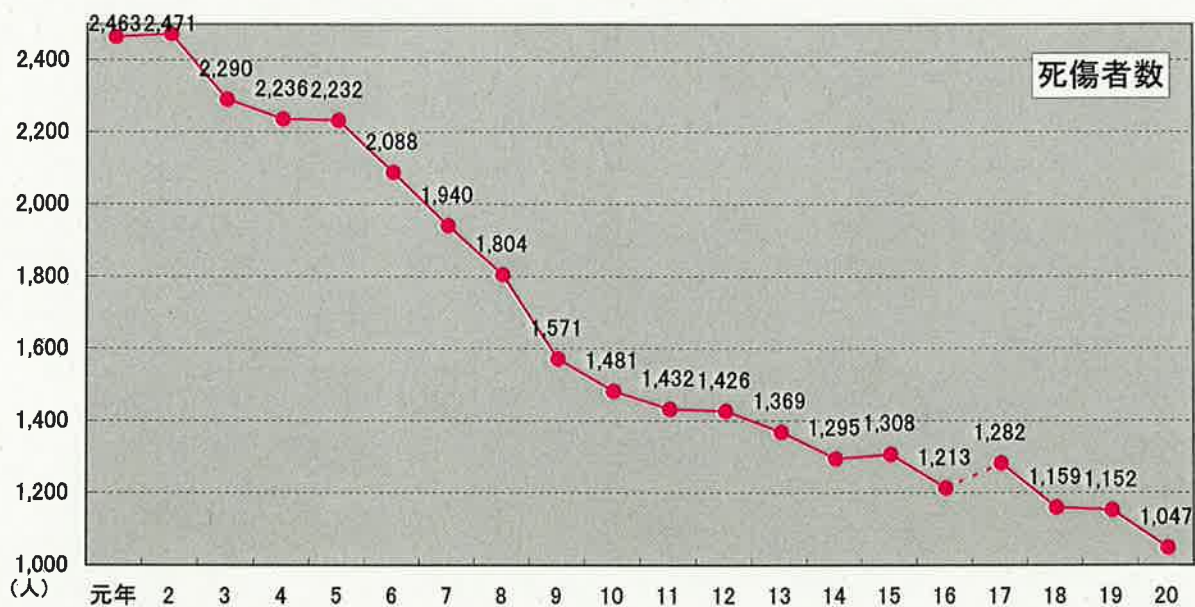
日 時 : 7月3日(金) 12:50から

場 所 : 須崎市立市民文化会館〔須崎市新町2丁目7-15〕

内 容 : 優良事業場及び優良従業員表彰、事業場発表、特別講演

# 労働災害の発生状況

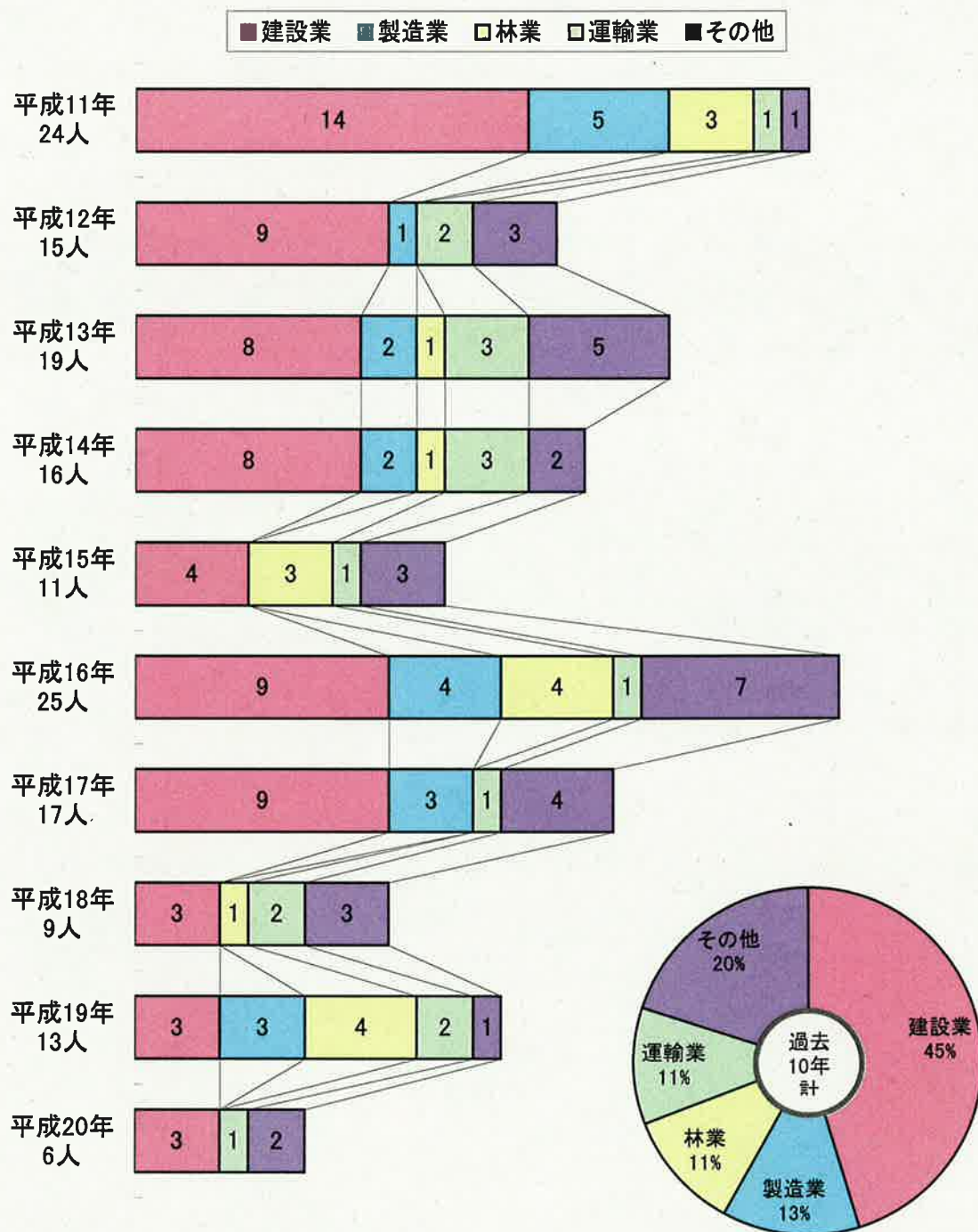
## 全産業における死傷者数の推移



(平成元年～16年の死傷者数は労災保険データ、平成17年～20年の死傷者数は労働者死傷病報告による。)

# 労働災害による死亡者数の推移

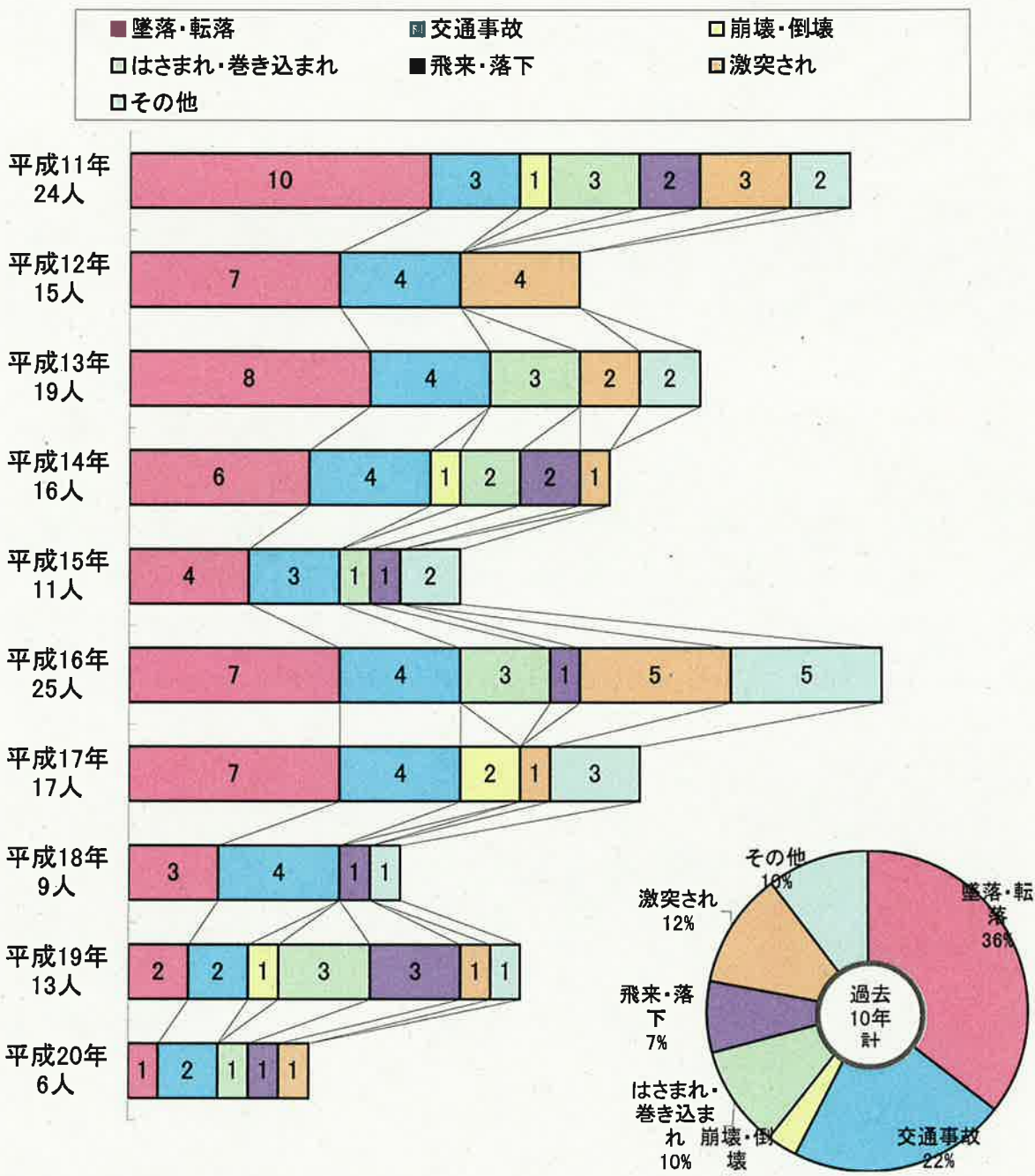
業種別死亡災害発生状況



(高知労働局管内における労働者死傷病報告によるもの。)

# 死亡災害の事故の型別発生状況

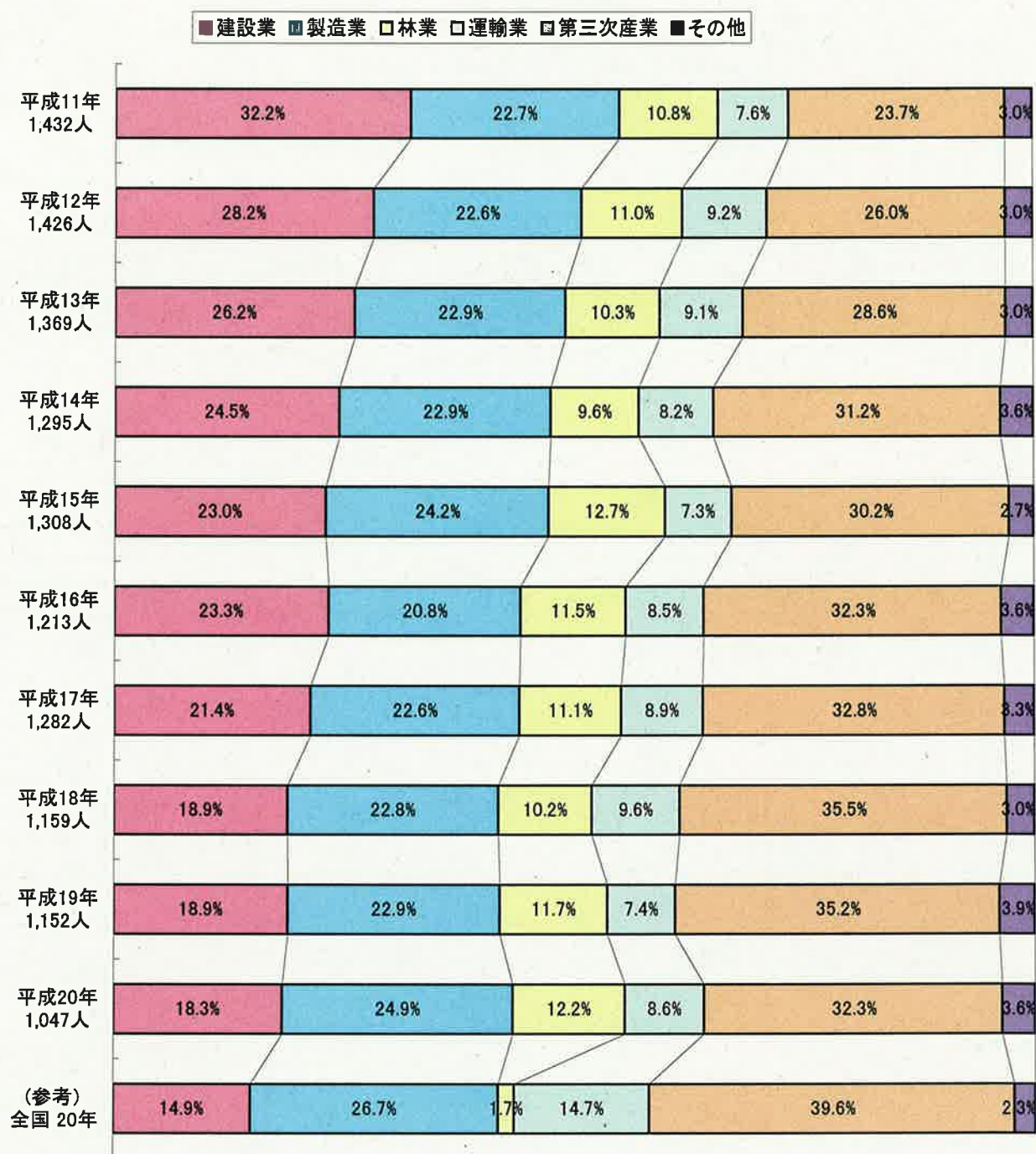
事故の型別死亡災害発生状況



(高知労働局管内における労働者死傷病報告によるもの。)

# 休業4日以上の死傷災害の業種別発生状況

業種別労働災害発生状況



(平成16年までは労災保険データ、平成17年からは労働者死傷病報告による。)



# 休業4日以上の死傷災害の事故の型別発生状況

事故の型別労働災害発生状況(年別)  
(休業4日以上)



(高知労働局管内における労働者死傷病報告によるもの。)